

2年生 あいさつの輪を広げよう

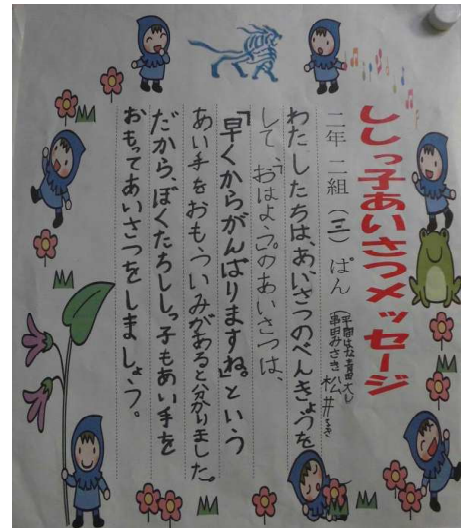
2年生は、国語科で「あいさつのみぶりとことば」の学習をしました。そして、挨拶には、相手のことを思う心が込められていること、身ぶりを付けて挨拶をすると心が伝わりやすいこと、言葉や身ぶりは違っても世界中で挨拶が大切にされていること等、学習して分かったことがたくさんありました。

このことを「ししっ子あいさつメッセージ」として、家族に伝えました。さらに、全校のみんなにも知らせたいと意欲が高まり、班毎にまとめたメッセージを給食の時間に放送したり、児童玄関前に掲示したりして思いを伝えました。

児童会の第2回「あいさつ駅伝」で挨拶ハイタッチ運動中でもあり、子供たちは、ハイタッチの身ぶりを付けて今まで以上に元気に挨拶をすることができ、学校中に素敵な挨拶の輪が広がりました。



＜児童玄関前に掲示したメッセージ＞



＜班で考えた挨拶メッセージ＞

5年生 がんばった連合音楽会

5年生は、30日(木)に第2区域連合音楽会に参加しました。夏休みから練習を始め、全体練習はもちろん、自主的に休み時間にも練習していた子供たち。「他の学校の演奏は、どうなのだろうか」と聴く態度は真剣そのものでした。

子供たちにとって、他校の同じ学年の子供との関わりは初めてです。それぞれの学校の演奏を聴いていると自分たちと同じように練習をしてきていることが感じられます。連合音楽会は、努力することの意義を自覚する大変よい機会となりました。また、曲想の違う音楽を味わうよい機会にもなり、子供たちにとって思い出に残る音楽会になりました。

子供の感想から

- 今日の音楽会で考えたことは、他の学校は手拍子で合唱を盛り上げたり、楽しい曲を笑顔で演奏したりしていたので、学習発表会には聴いている人に「すごい」と言ってもらえるようにしたいです。
- 他校の演奏を見ていて、とても感動しました。ぼくは、歌で音が下がらないようにがんばりました。合奏では、しっかり音を伸ばすことができたので学習発表会でもがんばりたいです。
- 他校の人が歌うときに体を揺らしていたのでびっくりしました。私たちは、きれいな声でがんばりました。演奏も指揮者を見てしっかりできました。私の精一杯の演奏をしたのでよかったです。
- 他校の演奏を聴いていると、体を揺らしていても違う感じが伝わってきてびっくりしました。僕の番になって、ドキドキしました。でも、その緊張を吹き飛ばすぐらいの歌を歌う気持ちで歌いました。合奏は、少し速いなと感じたところもあったけれど、演奏をやりきれたのでよかったです。
- 僕は、演奏する前は緊張していました。でも、他の学校の演奏を聴くと、みんな楽しそうに演奏していました。僕たちの演奏も最後までがんばってできたのでよかったです。

